

新「能代市」の誕生に向けて 18年3月21日の 合併まであと26日!!

新しい市ではこうなります



新市の将来像は

「輝くみらいへ
水とみどりの
環境のまち」
です

将来像などについては、10く11ページで説明していますので、参考にしてください。

今まで、別冊の能代市二ツ井町合併協議会だよりなどで、合併に関する状況を詳しくお伝えしてきました。今後は広報のしるでも要点をまとめ、市民の皆さんに「新しい市ではこうなります」という観点から、合併情報をお知らせします。

合併の方式

合併の方式には、新しい市をつくる新設合併と一つの市町村に吸収していく編入合併の2通りがあります。能代市と二ツ井町では、新しい市を設置する新設合併としています。

新市の名称

合併協議会では、新市の名称について、能代市・二ツ井町のそれぞれからの提案によって協議して決定することになりました。

そして、新市の名称は「能代市」とする提案が出されました。ただ、二ツ井町の議会では「米代市」という意見が多く出されました。いろいろな状況を踏まえて協議したところ、「能代市」ということで最終的に決定しました。

新市の事務所の位置

これは、現在の能代市役所を新市の事務所としています。また、将来の新庁舎の建設やその位置については、新市で検討することになっています。

財産及び債務

財産には、土地、施設、基金などの正（プラス）の財産と借金などの負（マイナス）の財産があります。能代市・二ツ井町、それぞれの財産は、すべて新市の財産として引き継ぐこととなります。

それと、現在ある財産区（浅内、常盤、鶴形、檜山）の4つについて、これは新市になっても存続することになります。